

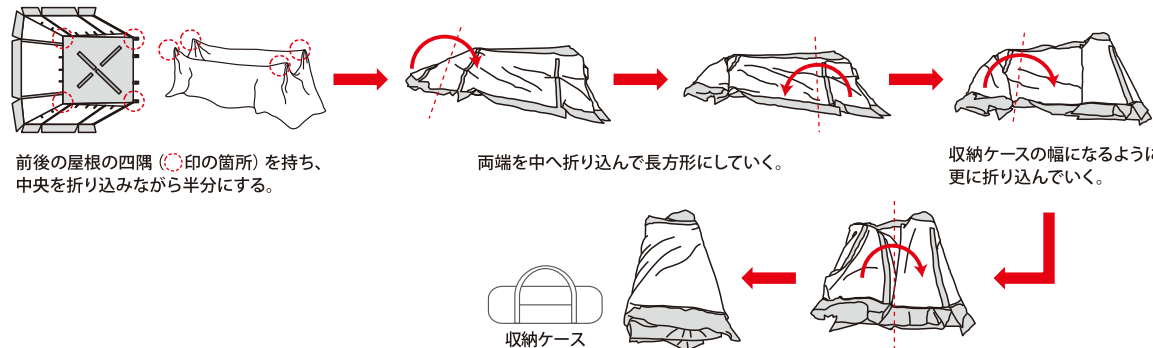
撤収手順

- 1 吊り下げていたインナーテントを取り外します。フライシートを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。

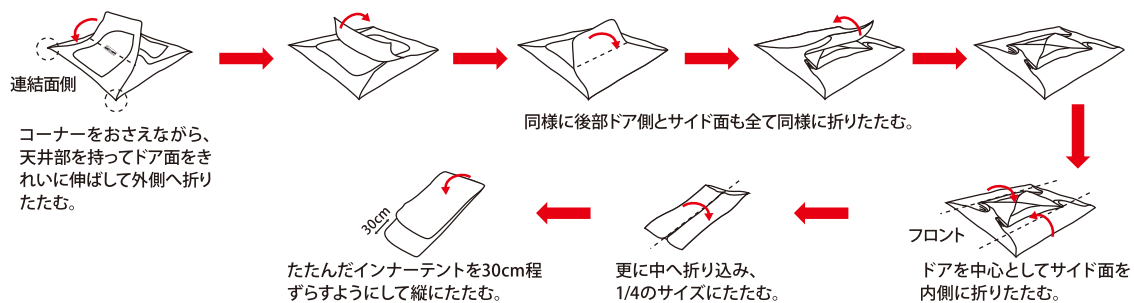


注意

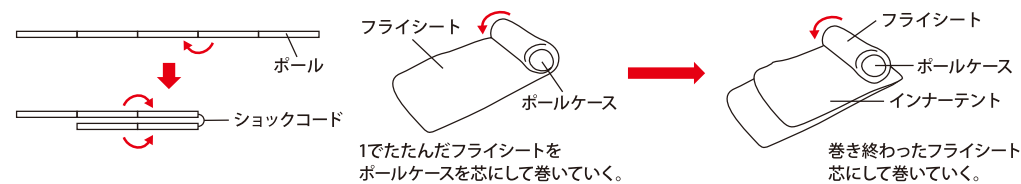
テント・タープを濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



- 2 インナーテントから、空気を逃がすためにドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



- 3 ポールを全ておりたたみポールケースに収納し、フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意

ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を延ばす事が出来ません。収納ケースに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。



Model 2000038144

CAR SIDE TENT/ 3025

[カーサイドテント/3025]

取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保管してください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

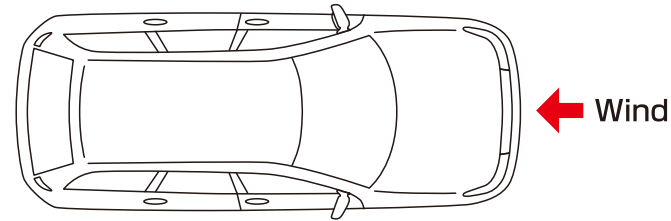
お問い合わせ先 コールマンカスタマーサービス: 0120-111-957

受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

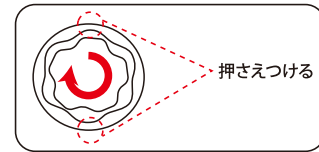
(車の後方に連結する場合)

- ①フライシート連結面の内側にあるグロメットテープ2ヶ所に車体コネクタを軽くセットします(グロメットテープを車体コネクタとキャップで挟みます)。
- ②車体コネクタを、吸着可能な車体後方に移動します(取り付け位置は、リアゲート・後方窓・ルーフなど車体によって変わります)。



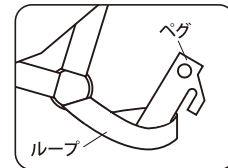
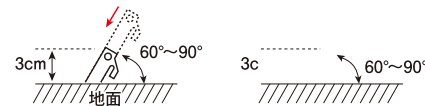
- ③片方の手で、車体コネクタの吸盤を接地面に対して(2~3か所)押さえつけながら反対の手でキャップを閉めていきます(押さえない場合キャップを閉めるだけでは吸着力が弱く連結できない場合があります)。

※車体コネクタの吸盤が吸着しない場合は、キャップを外し、再度押さえながらキャップを閉めてください。



- ④2ヶ所のループ(A・B)にプラスチックペグを打ち、本体を固定してください。次にラバーループを張出し、図のように8ヶ所を順に(①~⑧)にスチールペグを打ち、本体を固定してください。
- ※ラバーループはダブルループ・シングルループで長さを調整できるようになっています。各箇所が必要に応じて調整してください。

〈A・B〉
プラスチックペグ



ペグは引かれる方向の反対側へ60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設置できます。



注意

車体コネクタの吸盤の接地面及び車体の接地面は水拭きで表面をきれいにしてから取り付けてください。
車体コネクタの吸盤の直径は約6cmです。車体の接地面は6cm以上の平らな場所で連結してください。
車体コネクタの吸盤はガラス面でより吸着します。車体のリアゲートやルーフでは吸着が弱く連結ができない場合は、後方窓のガラス面での連結をお試しください。
車体コネクタの設置場所によっては本体が浮いてしまったり沈んでしまうことがあります。

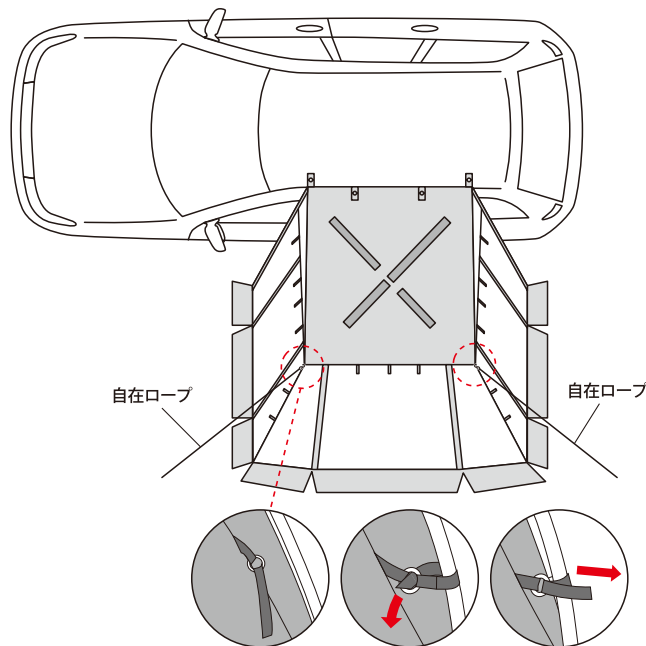
V インナーテントをセットする

STEP 11 インナーテントの前後のファスナーを全て閉めます。

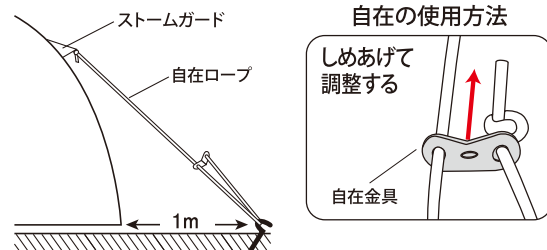
STEP 12 インナーテントを吊り下げます。コールマンロゴがある面が連結面側になります。フライシート内側にあるリングにインナーテントのフックをかけます。フロアの四隅にあるループをそれぞれペグで固定します。まずは、後方のループをフライシートを固定したプラスチックペグと一緒に固定します。次に、連結面側のループをスチールペグで固定します。

VI ロープを張り固定する

STEP 13 ストームガードシステムはテントの安定性を高めます。各ポールにストームガードでポールとフライシートを固定し、ロープを図のように取り付けペグで固定します。



左図の要領にてロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。

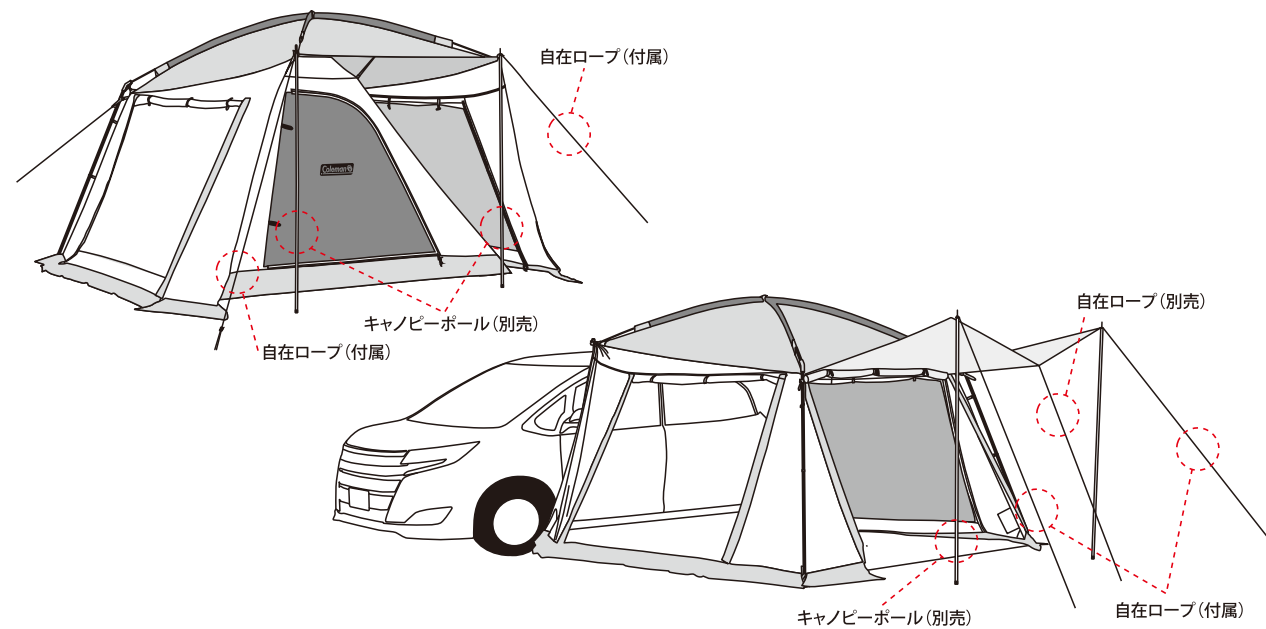
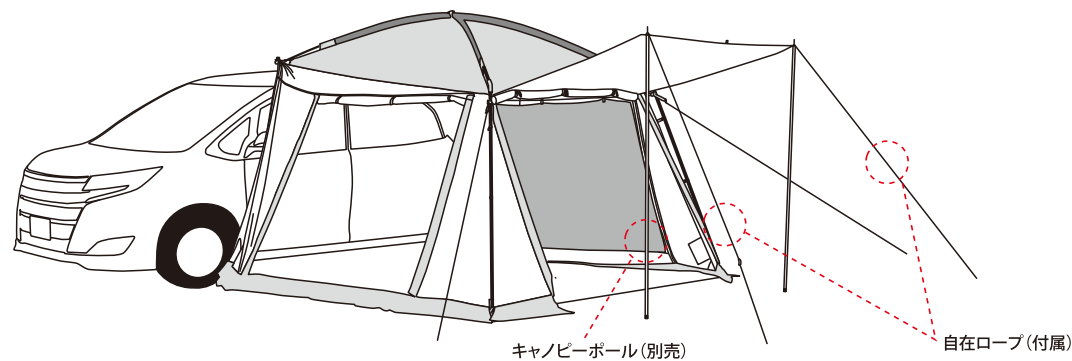


ストームガード
ウェビングテープをポールに巻きつけることで、生地とポールに力を分散。

注意 大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

VII キャノピーポールの活用

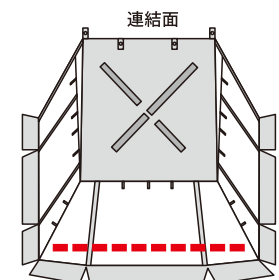
別売りのキャノピーポールで、キャノピーの張り出しはもちろん、車との連結なしでも自立が可能です。



注意 雨天にキャノピーとして活用する場合は水がたまりやすくなります。その際はキャノピーに傾斜を作るか、右図のように中央部にロープを結びペグ止めて雨水を流してください。風の強い時は、必ずキャノピーを閉じてください。ポールが折れるおそれがあります。

VIII スタンディングテープの利用

設営後に、スタンディングテープに足を引っ掛けるなどのおそれがある時は、スタンディングテープを外すことができます。(右図赤点線位置)スタンディングテープを外したら近くのポケットに収納してください。



注意 撤収時にはスタンディングテープを装着してから撤収してください。次回立ち上げる時にスムーズに設営に取り掛かれます。

IX インナーテントベンチレーションの利用

連結面側のドアは上下別々にフラップを開閉できます。プライバシーを確保しながら換気や温度調節ができます。

